

吹田市特殊詐欺集中対策本部会議について

1 本市における特殊詐欺発生状況について

本市の特殊詐欺被害の推移については、大阪府警察本部により示されている行政区別の発生件数では、令和4年が1位と1件差の115件で府内ワースト2位（※警察署管内ではワースト1位）、本年7月末の速報値においても、84件でワースト2位という状況。

2 特殊詐欺被害の状況[※]

(1) 令和3年～4年の被害状況及び前年比一覧

本市における特殊詐欺被害状況は、被害額及び件数ともに大幅に増加している。特に還付金詐欺の件数・被害額が増えている。

	令和3年		令和4年		前年比	
	発生件数	被害金額	発生件数	被害金額	発生件数	被害金額
オレオレ詐欺	5	約1,248万円	4	約630万円	△1	△約618万円
架空料金請求	3	約306万円	6	約2,506万円	3	約2,202万円
還付金詐欺	42	約4,243万円	68	約7,207万円	26	約2,964万円
預貯金詐欺	9	約1,010万円	17	約1,528万円	8	約518万円
キャッシュカード詐欺盗	11	約1,014万円	20	約1,735万円	9	約721万円
合計	70	約7,821万円	115	約1億3,606万円	45	約5,785万円

大阪府	1,538件	約24億1,441万円	2,064件	約31億9,115万円	+526	約7億7,674万円
-----	--------	-------------	--------	-------------	------	------------

※吹田市特殊詐欺被害発生件数・・・吹田警察署提供

(2) 令和5年の被害状況[※]（速報値）

	令和5年7月末	
	件数	被害金額
オレオレ詐欺	3	約3,030万円
架空料金請求	9	約513万円
還付金詐欺	30	約3,190万円
預貯金詐欺	15	約900万円
キャッシュカード詐欺盗	27	約984万円
合計	84	約8,614万円

出典：大阪府警察本部 HP



「特殊詐欺発生状況」

「# BAN 闇バイト」



実録、これが特殊詐欺の手口です

2 吹田市特殊詐欺集中対策本部設置の目的と概要

背景と課題

- ・ 特殊詐欺被害件数 府内ワースト1位（吹田警察署管内）
- ・ 特殊詐欺の手口は、ほぼすべてが電話から始まっている。
- ・ 本市は高所得の高齢者が多く、被害が発生しやすい環境。（警察談）

目的と手法

- ・ 特殊詐欺犯に対して、吹田市内は特殊詐欺をやりにくい、という印象を持たせる
- ・ 市民、特に高齢者が特殊詐欺被害にあわないように、吹田市と吹田警察署を軸に作成する『吹田市特殊詐欺集中対策本部アクションプラン』に基づき、金融機関、コンビニ、市民を巻き込み、一丸となって対策を実施し、短期決戦で電話による特殊詐欺被害を撲滅する。

3-1 吹田市特殊詐欺集中対策本部 組織体制



3-2 吹田市特殊詐欺集中対策本部 構成

(1) 本部長・副本部長

本部長 吹田市長 後藤 圭二
副本部長 吹田警察署長 川畑 慶和

(2) 構成(関係機関含む)

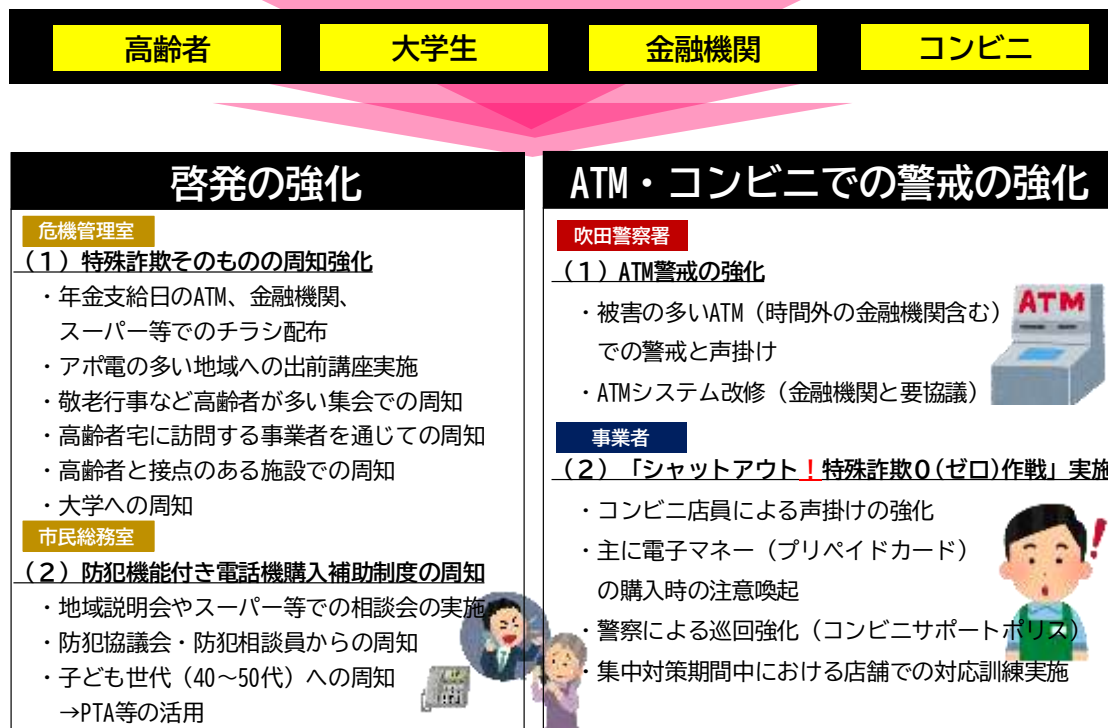
吹田警察署、吹田市
大阪府警察本部府民安全対策課、大阪府危機管理室治安対策課
吹田防犯協議会、日本郵便(株) 吹田郵便局、
日本郵便(株) 吹田江坂一郵便局、日本郵便(株) 吹田千里郵便局、
日本郵便(株) 吹田千里北ビル内郵便局、日本郵便(株) 吹田高野台郵便局、
尼崎信用金庫 吹田支店、(株)阿波銀行 北大阪支店、
(株)池田泉州銀行 江坂支店、大阪厚生信用金庫 江坂支店、
大阪信用金庫 吹田支店、(株)関西みらい銀行 吹田支店、
北おおさか信用金庫 吹田支店、北大阪農業協同組合、
(株)紀陽銀行 江坂支店、(株)京都銀行 吹田支店、京都信用金庫 吹田支店、
近畿労働金庫 吹田支店、(株)徳島大正銀行 江坂支店、
(株)日本政策金融公庫 吹田支店、のぞみ信用組合 吹田支店、
(株)みずほ銀行 江坂支店、(株)三井住友銀行 吹田支店、
(株)三菱UFJ銀行 江坂支店、(株)三菱UFJ銀行 吹田支店、
(株)ゆうちょ銀行 吹田店、(株)りそな銀行 吹田支店、
(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ファミリーマート、
山崎製パン(株)デイリーヤマザキ、(株)ローソン

※8月 25日(金)現在 参画調整中の機関等あり。

(3) 本部設置場所

吹田市役所高層棟3階 吹田市危機管理センター内 吹田市総務部危機管理室
(吹田市泉町1丁目3番40号)
電話 06-6384-1753

4 特殊詐欺集中対策本部アクションプラン（フレーム）



5 これまでの取り組み

(1) 吹田警察署と防犯協定締結

令和5年6月9日に本市と吹田警察署との間で、吹田市民を犯罪から守る取組みを推進するため、協定を締結。主な連携・協働事項は、子供・女性・高齢者を狙った犯罪被害防止に関する事、企業や関係機関・団体との防犯活動に関する事などとしており、特に特殊詐欺被害の未然防止に関する事に重点的に取り組むものとしている。



(2) 職員研修「吹田市を知る～吹田市の犯罪発生状況と安心・安全のまちづくり～」

令和 5 年 6 月 14 日 協定に基づき、特殊詐欺対策に取り組んでいくにあたり、職員に意識の浸透を図ることを目的に、吹田警察署長自らの講演を含む職員研修を開催。特殊詐欺の現状や犯行の卑劣さ、対策が急務であること等を共有。

(3) 協定に基づく ATM 警戒キャンペーン

令和 5 年 6 月 15 日 連携協定に伴い、特殊詐欺防止について関西みらい銀行の ATM 警戒を吹田警察と連携して実施。

(4) 吹田市・吹田警察署連絡会議

吹田市及び吹田警察署双方の業務を円滑に進めるために、双方の報告事案や協力依頼等情報共有の場として、年 2 回開催。令和 5 年 7 月 14 日 開催の会議では、「特殊詐欺対策」をメインテーマとして、具体的な取り組みについて意見交換を行い、「吹田市特殊詐欺集中対策本部」を立ち上げ、短期集中的に対策を行う方向性を決定し、特殊詐欺撲滅に向け本格的に動き出した。



(5) 吹田市特殊詐欺集中対策本部 設置

令和 5 年 8 月 1 日 吹田市と吹田警察署との間で締結する吹田市民を犯罪から守るための連携協定に基づき、両者が一体となり、特殊詐欺被害の撲滅を図るための対策を緊急かつ集中的に講じるため、「吹田市特殊詐欺集中対策本部」を設置。

(6) 防犯機能付電話機等の購入補助

特に被害の多い 65 歳以上の高齢者を対象に防犯機能付電話機等の購入に要する費用の一部を補助（令和 5 年 7 月 補正予算）

【補助額】

購入費用の 3 分の 2 の額（最大 1 万円） 予算額 1 千万円

以上